

## 第3章 標準入出力

### 3.1 cout

またまた HelloWorld プログラムの登場です。

```
1 #include <iostream>
2 using namespace std;
3
4 int main()
5 {
6     cout << "HelloWorld!" << endl;
7     return 0;
8 }
```

次は cout の説明をしていきたいと思います。cout は c 言語でいう printf にあたり、画面へ文字を出力することができます。<< は今の段階では cout の中に文字列を放り込むものだと思ってください。

画面への文字の出力

```
cout << "表示したい文字";
```

複数の文字を放り込むこともできます。

```
1 int main()
2 {
3     cout << "HelloWorld!" << "\n" << "goodbye" << endl;
4     return 0;
5 }
```

また、endl というものを cout に放り込んでいますが、これは改行という意味です。<sup>1</sup>

また、文字だけでなく変数や数字を放り込むこともできます。

<sup>1</sup>正確に言うと改行だけではないのですが、今の段階では同じと思ってもらって結構です

```
1 int main()
2 {
3     int i=5;
4     cout << "Value is " << i << endl;
5     return 0;
6 }
```

## 3.2 cin

cin は C 言語でいう scanf にあたります。

cin の使い方

```
cin >> 代入する変数名;
```

cin から >> を使って変数の中に値を放り込んでいます。

```
1 #include <iostream>
2 using namespace std;
3
4 int main()
5 {
6     int i;
7     cout << "何か文字を入力してね :";
8     cin >> i;
9     cout << "入力された文字は" << i << "です。" << endl;
10    return 0;
11 }
```

この例ではキーボードから入力された値を画面に出力します。

## 参考文献

- [1] ハーバート・シルト著, トップスタジオ訳, 独習 C++改訂版.